



岩内町立岩内第一中学校

目指す生徒像
 自ら考え正しく判断する人
 自ら学び創造性に富む人
 自ら鍛え粘り強く実践する人

年度重点目標：『一中スマイル』学びを大切にしよう

本年度の後期学校評価の集計結果をお知らせします。回収率約90%と多くの保護者の皆様にご回答をいただきました。ありがとうございました。集計したデータのうち、前期同様に教職員自己評価・保護者評価・生徒評価の肯定的回答、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、7割に満たないものを要改善評価項目としました。この結果をもとに分掌部会・学年部会で検討を重ね、職員会議で全体確認をした後のまとめを学校だよりとしてお示しします。今後とも、信頼される学校づくりを目指してまいります。保護者の皆様の益々のご理解ご協力をお願いいたします。

本年度の重点教育目標 「一中スマイル」「学びを大切にしよう」	
①「自分の将来を設計する力を育てる」 ～教育課程の効率的な編成・実施等～	④「自らの判断で活動できる力を育てる」 ～自己決定力の育成～
②「自ら学び、主体的に発信するための知識・技能を育てる」 ～主体的な学習習慣と、基礎・基本等の確実な定着～	⑤「職員の心身の安定を図る組織をつくる」 ～個の力が活かされる組織力～
③「自信が持てる心を育てる」 ～自己肯定感、自己有用感の高揚～	⑥「地域連携が図られる環境をつくる」 ～小中、中中連携の強化～

令和5年度 岩内第一中学校 後期学校評価

8割以上を ()は前期の評価
 7割未満を で表しています

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題
自分の将来を設計する力の育成	私は、総合的な学習の時間で、生徒が自分の将来や職業について考える場面の設定を意識して取り組んでいる。	86% (80)	お子様は、学校生活の中で、自分の将来や職業について考えられるよう成長してきている。	52% (54)	総合的な学習の時間で、自分の将来や職業について考える場面がある。	78% (82)	・昨年度より、各学年系統性をもった教育課程の編成を行っており、生徒と教職員の数値が概ね目標値を達成している。保護者の数値が7割未満の評価については、情報発信の工夫を含め、キャリアパスポートの活用頻度を増やしなが、生徒が将来を考える場面設定や将来に必要なだろう資質と能力の定着を更に図っていきたいと考える。
	私は、特別活動で、キャリア形成と自己実現を図ることを意識して取り組んでいる。	86% (87)	お子様は、学校生活の中で、自分の生活や将来を考えられるよう成長してきている。	66% (66)	学級活動や生徒会活動、学校行事で学んでいることが、自分の生活や将来に生きるだろうと思う。	83% (85)	
	私は、「資質・能力の三つの柱」「カリキュラム・マネジメント」など、新しい学習指導要領における重要な事項を意識して教育活動に取り組んでいる。	73% (73)	お子様は、できるようになったこと、学んだことに自信を持ち、日常生活に生かそうとしている。	70% (76)	何ができるようになるか、何を学ぶか、どのように学ぶかを考えながら授業に臨んでいる。	84% (81)	
文化と主体的に自ら進んで取り組むための知識・技能の育成	私は、生徒が自ら学習に向かうとする姿勢作りと、生徒の学習用具持ち帰りの指導に努めた。	93% (87)	お子様は、自分から家庭学習に取り組んだり、家庭学習の内容を考えて家庭に持ち帰る学習用具を決めたりしている。	63% (55)	自分から学ぼうとして授業に臨んだり、家庭学習の取組を考えながら学校に置いて帰る物を持ち帰る用具を決めたりしている。	81% (80)	・家庭学習の習慣化に向け、今後も各教科の宿題提示や家庭学習ノートの提出、デジタル教材使用の推奨をしながら継続します。また、生徒が先生方へ質問することができる時間や場の確保、雰囲気作りにも工夫してまいります。 ・個に応じた教科指導はTTの充実を更に図ってまいります。また、習熟度別学習については今後も検討を進めていきます。
	私の校内研修の取組は、自分自身の授業改善に直結している。	93% (87)					
	私は、基礎・基本の定着のために、個に応じた指導等を工夫しながら教科経営をしている。	86% (87)	お子様は、学校の授業等において、個に応じた指導を受けていると感じる。	51% (47)	授業や放課後学習などにおいて、わからないことなどを先生に質問しようと取り組んでいる。	51% (53)	
自信がもてる心の育成	私は、自己評価・他者評価などを通し、自己を振り返る学年・学級経営計画の立案に努めた。	86% (73)	学校は、お様のよさや仲間のよさを認め合う教育活動を位置付けている。	71% (75)	学校生活を通して、自分のよさや友だちのよさを認め合う場面があると感じる。	95% (93)	・4項目について、学校での取組の成果を生徒が概ね実感している結果と考えられる。今後も家庭と連携した取組になるよう、学校での取組を家庭に可能な範囲で情報発信したいと考えている。 ・特に「自分のよさや友達の良さを認め合う場面」や「自分には良いところがあると思う。」(自己肯定感)の生徒評価が高くなっており、今後も様々な活動を通じて成功体験をさせる場面を多く設定するなどの取組を継続したい。
	私は、授業や行事など、日常生活に直結した指導計画の立案に努めた。	86% (87)	日常の授業や学校行事を通して、お様の成長を感じることができる。	87% (88)	学校生活を通して、自分やクラスの成長が感じられる。	85% (86)	
	私は、内容項目を押さえた道徳の授業や日常の道徳教育を行った。	87% (87)	学校生活を通してお様の道徳性の向上を感じる。	77% (80)	道徳の授業や学校生活を通して、自分の心が成長していると感じる。	86% (85)	
	私は、生徒の成功体験の機会設定を行うことによる自己理解を深めさせる指導に努めた。	87% (93)	お子様は、自分に自信がもてる心が備わってきている。	70% (69)	自分には良いところがあると思う。	86% (75)	

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題
自らの判断で活動し、達成感を 実感できる機会の充実	私は、校外外における「一中生挨拶」の指導・強化に努めた。	93 % (93)	お子様は、校外外で進んで挨拶をしている。	74 % (82)	校外外で積極的に挨拶をしている。	80 % (86)	・左記3つの項目については、三者とも高評価となっており、今後も継続指導を推進していきます。 ・相談しやすい環境づくりの項目(生徒・保護者)については前期よりも高くなっています。今後も生徒との信頼関係を大切にしながら暖かく見守ります。中学生は実社会へと巣立つまでに、学校という集団生活の中で、時には厳しく接しなければならぬ場面が多々ありますが、正面から生徒と向き合い、生徒の精神面での成長も促してまいります。
	私は実践に導く生徒の自己判断・自己決定の機会設定に努めた。	87 % (93)	お子様は、自分で考え、物事を判断している。	80 % (82)	物事を決めるときは、自分の考えで判断している。	83 % (87)	
	私は、いじめを発生させない未然防止の取組に努めた。	100 % (93)	お子様は、いじめは絶対に許さないという考えで生活している。	95 % (93)	いじめは絶対に許さないという考えで、思いやりの気持ちを大切にしながら毎日を過ごした。	99 % (96)	
	私は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるよう努めた。(不登校への対策も含む)	93 % (87)	学校は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるようにしている。	70 % (61)	悩みがあれば先生方に相談するなどし、学校へ安心感をもつことができている。	68 % (64)	
教職員の心身の充実	私は、組織としての各種業務運営を確立させることによる個人負担の軽減に努めた。	73 % (60)					・組織的に業務分担内容を更に見直し、個人負担の軽減を図れるように継続していきます。 ・小中、中中連携については、義務教育学校設立に向けた活動が職員全体に周知徹底が徐々にされ、体制の強化につながっています。今後も情報の共有を大切にしながら体制の強化に努めていきます。
	私は、各種業務のPDCAサイクルの徹底に努めた。	80 % (80)					
	私は、小中、中中の連携による体制強化に努めた。	93 % (67)					
働き方改革につながる地域連携	私は、各教育活動の教育課程への位置付けについてその意義を理解し、指導に努めた。	93 % (93)	学校の各種取組は、その目的や関連性が理解しやすい。	66 % (66)	学校の取組は、目的やつながりがわかりやすい。	81 % (81)	・3項目において、前期同様に大きな変化は見られませんが、現在も地域の人材を活用し、授業を始め、部活動等に協力して頂く場面を多く作っています。今後も学校運営協議会の活動の中で、地域との関係を更に構築し、人材や資源等を生かしながら地域に開かれた学校づくりを目指します。
	私は、町教委の「部活動指導のガイドライン」に準じた部活指導に努めた。	87 % (93)					
	私は、学校運営協議会(CS)を活用するなど地域人材の活用に努めた。	67 % (53)	学校は、学校運営協議会を活用するなど、地域人材の活用に努めている。	52 % (45)	地域の方をはじめとする外部の方々との接する機会がある。	54 % (69)	

その他のご意見に対する学校の見解

●【部活動を通して、生徒に身につけさせたい力についてご意見をいただきました。】

➡部活動に参加する生徒にとっては、スポーツ、芸術文化等の幅広い活動機会を得られるとともに、体力や技能の向上だけでなく、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもあるため、部活動は多様な生徒が活躍できる場であり、豊かな学校生活を実現する役割があります。それを踏まえ、生徒自らが意欲的に部活動に打ち込んだり、仲間と共に切磋琢磨しながら同じ目標に向けて努力する経験を通して今後も成長を促したいと考えています。

●【部活動の運営や指導に係るご意見をいただきました。】

➡部活動の運営や指導については、様々な考え方がありますが、頂いた貴重なご意見もしっかり受け止め、今後の参考にしながら部活動運営や指導に生かしたいと思っております。気になることがありましたら、教頭または部活動担当までご連絡ください。

●【学校の校則(生徒心得)に係るご意見をいただきました。】

➡①現在の校則(生徒心得)は、今までの学校や生徒の実態に応じて校則(生徒心得)が創られてきたところです。今現在、他校(二中)の校則と多少の違いがあります。令和8年度の岩内中央学園開校に向けて、校則(生徒心得)を町内で可能な範囲で揃えるように話し合いを進めています。また、昨年からは生徒会を中心に校則に対する全校生徒の意見を集約し、校則の見直しを行っている最中です。次年度4月には生徒の意見が反映された生徒心得を配付する予定です。

②移動教室やジャージの着替えについては、特に1年生は更衣室までが遠く移動に時間がかかる状況があります。前時の授業終了時間等も考慮しながら生徒に時間の余裕を持たせたいと考えておりますが、現1年生は自分の行動に見直しを持って行動する姿勢も見られるようになってきています。

●【女子のソックス(校則)について、ご意見をいただきました。】

➡女子のソックスについては早い段階で見直しを考えています。現在は他の内容についても生徒会を中心に生徒の意見を集約し、校則(生徒心得)の見直しを行っている最中です。ご理解ください。

●【頭髪の見直し(例えば女子ならツインテール、男子はツーブロック)についてご意見をいただきました。】

➡頭髪の見直しをはじめ、他の内容についても生徒会を中心に生徒の意見を集約し、校則(生徒心得)の見直しを行っている最中です。生徒自身が自分たちの校則について考え、見直しを進めていくことは、校則を自分たちのものとして守っていくという態度を養い、主体性が培われる意義があることから時間をかけながら生徒心得の見直しをしています。ご理解ください。

●【暑さ対策等に係るご意見をいただきました。】

➡生徒の健康面を第一に考慮し対応したいと考えています。具体的には、次年度から各学級にスポットクーラーと遮光カーテンが町内の学校に設置されます。また、長い猛暑日に対応するため次年度から夏休みを5日間増やす日程を組んでいます。生徒自身の暑さ対策としては、引き続き、気温の高い日(予想される日)には、小まめな水分補給(水筒持参等)や着衣(ジャージ登校やハーフパンツ着用など)による体温調整などに気を配りながら健康面に配慮してまいります。暑さ対策のグッズを町内で揃えてほしいというご意見もありますが、暑さと生徒の状況を見ながら臨機応変に対応したいと考えています。

●【授業態度や生徒の忘れ物に係るご意見をいただきました。】

➡授業の受け方や学校生活のマナーについては、他の人への迷惑にならないように考えて行動する気持ちが少しずつ育ってきています。忘れ物をした場合は、他の人から借りるのではなく、教科担当や学級担任に報告することになっています。無断で他人のものを使用することがないように指導しています。もし学校でモノが無くなったということがあれば学校へ連絡をしてください。提出物やアンケートについても保護者に内容をしっかり見てもらい、生徒が責任をもって学校へ提出するように指導していますので、ご協力をお願いいたします。

●【「学校に行きやすい状態や、学校に行けない生徒に対して、学校以外で勉強する環境が欲しい。」というご意見をいただきました。】

➡学級の雰囲気作りをはじめ、生徒同士の絆づくりや居場所づくりなど「生徒にとって安心・安全な学校」であるために第一中学校職員一同が志を高く持ちながら、教育活動を進めてまいります。現在、学校に行けない生徒に対しては保健室（会議室）やつばさ教室（岩内町教育支援教室）の活用などでデジタル教材の活用やオンライン授業・つばさ教室での学習で対応しております。お子様の学校生活で、小さなことでも心配事や不安な面がございましたら、いつでもお気軽に相談していただくと助かります。どうぞよろしくをお願いいたします。

●【「不登校にならないように相談はさせていただいてますが、もう少し学校側で配慮してほしい。」というご意見をいただきました。】

➡ご意見から、おそらく学校側の対応がまずかったのだと感じます。申し訳ございませんでした。今後も様々な観点から生徒を支えられるように対応・配慮してまいります。お子様の学校生活で心配事や不安な面がございましたら、今後もご相談していただくと助かります。どうぞよろしくをお願いいたします。

●【「生徒の学力向上の為に放課後学習の時間帯を学校全体で増やして欲しい」というご意見をいただきました。】

➡本校では現在、定期テスト1週間前に朝読書の時間を活用し朝学習を行っております。また、長期休業中の学習会など、生徒の学力向上に取り組んでいるところです。今回のご意見を頂いた放課後学習会についても、学習以外の活動のバランスを考慮すると、開催できる日程が限られます。その補充として ICT を活用したデジタル教材の推奨や、家庭学習の促進を行うことで学力向上に努めていきたいと考えております。しかし、今回のご提案を元に、さらなる学力向上に向けてのアプローチを学校として検討していきます。

●【「生徒の様子などの情報発信が少ない気がします。なのでアンケートに回答するにも、なかなか判断できない質問もあります」というご意見をいただきました。】

➡前期学校評価にも「HPの有効活用してほしい」という意見がありました。次年度に向けてできる限り、情報発信をしていきたいと考えております。今年度については年度当初に各ご家庭に確認をさせて頂いた、学校 HP・学校だより・学級通信への写真掲載等について賛否両論あるため、個人情報の取扱いについては学級全体の様子やグループ活動、作品・表彰等の写真掲載を制限していることにご理解いただきたいと思います。ただ、それ以外の面について今後工夫をしながら情報発信に努めたいと考えています。

アンケートの回答については、知る範囲の中で回答をしていただきたいと思います。特に我が子の様子や家庭内の会話から知る範囲で構いませんので、今後もご協力いただきたいと思います。

●【「体力向上と学校外の活動を促進する上で仮に中央体育館に変わる場所の提供やスキー場へのバスの運行の施策を期待!」というご意見をいただきました。】

➡ご意見いただいたように、現在、岩内中央体育館が昨年秋に閉鎖され、町内で子供たちが体を動かす場（体育館）がありません。これは本校だけの問題ではなく、町内小中4校の子どもに係ることでもあるので、町教委にも相談しながら、施策等を考えていきたい思います。

●【「よさこいの発表を今後も継続して欲しい」というご意見をいただきました。】

➡全校生徒で始まった本校の「よさこい」も今年度で20年目を迎えました。今までの先輩方が創ってきた一中の伝統を今後も継承しながら更に良いものを目指して取り組みたいと考えています。

●【「地域の人たちとのふれあい、交流を取り入れて、町の活気が増えれば良いと思う。（ボランティア活動、奉仕活動、町の行事やイベント参加・お手伝いなど…。）」というご意見をいただきました。】

➡この4年間コロナの影響も有り、町の行事やボランティア活動に参加できていない状況もありました。今後は以前参加していた地域のクリーンアップ運動や生徒会を中心にボランティア活動への参加を呼びかけながら地域の方々とのふれあいの機会を増やしたいと考えています。

●【学校行事の際の携帯持ち込みについて、ご意見をいただきました。】

➡スマホの取扱い・持ち込みについては、行事の際も含め保護者の考え方にも賛否両論があることから現在変更を考えておりません。ご理解いただきたいと思います。学校の考え（根拠）としては、(文科省発出)2020年まで小・中学校のスマホの持ち込みは不要物として原則禁止、高校では校内での使用を制限するという対応でしたが、現在は条件付きで容認する方針を提示しています。その背景は自然災害や犯罪に遭遇するなど緊急時の連絡手段として保護者を中心にニーズが高まったこと、特に登下校時は生徒が学校の管理下にないことなどが考慮され、条件付きで中学校でも認めることになっています。校内での取扱いは「一時的に預かり、下校時に返却」が全国の公立、国立、いずれも98%以上を占めます。本校も保護者からの連絡により、上記の対応を取っています。(その他の扱いでトラブルが心配される内容としては、中学校における個人情報や写真データの取扱い、SNS上への投稿、スマホ使用時の破損・故障の責任所在等による法的処置や判例が全国各地で多発していることをご理解下さい。)

●【「(体育祭時)生徒と同じクラスTシャツを着ていてTシャツ in していない先生方が今年も数名いる。」というご意見をいただきました。】

➡Tシャツ in については、夏期の間は出しても構わないことになっています。ただし、体育大会の競技最中は体育科授業時同様に記録の向上を目指すという観点(衣服の抵抗をなくす等)から競技中のみ生徒はTシャツを入れるように指導しています。先生方のTシャツ in については、競技に出場しないため、生徒同様にTシャツ in しておりませんのでご理解ください。